



インスピレーションになるう

30th Anniversary Shintoshin Weekly

〒160-0023 新宿区西新宿2-7-2 ハイアットリージェンシー東京11階

TEL : 03-3340-3555 FAX : 03-3340-3554 E-mail : shintoshin-rc@par.odn.ne.jp

HP : <http://www.tokyo-shintoshin-rc.org>

会長 半場慎一 幹事 引地正修 創立 : 1988年9月21日

「日本オペラと海外オペラとの違い」

プロデューサー・舞台監督・技術監督 小栗 哲家 氏

オペラとは一言で表すと「総合芸術」になりますが、音楽・芝居・美術・照明・衣裳等々を纏めて進行していくのが舞台監督の仕事です。

日本のオペラの創世記から携わり、二期会・日生オペラシリーズ、サイトウ・キネン・フェスティバル松本、愛知芸術文化センターオープニングセレモニーを始めプロデュースオペラ、びわ湖ホールプロデュースオペラ、兵庫県立芸術劇場プロデュースオペラを手掛け、また海外歌劇場のウィーン国立歌劇場・バイエルン国立歌劇場・メトロポリタン歌劇場・ボローニャ歌劇場等の日本公演にも携わってきたなかで日本と世界との舞台監督の仕事の違いや劇場での公演のシステムの違い、今後のオペラは？などをお話させていただきます。



小栗哲家<プロデューサー・舞台監督・技術監督>

1972年より舞台監督助手として活動を始める。舞台監督としての初仕事は1976年関西二期会「アルバートヘリング」。その後二期会オペラ「フィガロの結婚」をはじめ、海外有名歌劇場引越公演や富田勲氏のプロジェクトでも活躍し、45年間で300本以上のオペラ公演を手掛ける。

1987年37歳で独立しクリエイションを設立。

1988年に制作部門強化のためアートクリエイションを設立

劇場建設アドバイザーとして愛知県文化芸術センター・新国立劇場・静岡グランシップ・松本市民芸術館・長岡市立劇場・ビックハート出雲の創設に携わる。現在札幌市民会館・堺市民芸術館のアドバイザーとして携わっている。

第27回 新日鉄住金音楽賞特別賞受賞。

第1421回例会 3月13日(水)

「日本オペラと海外オペラとの違い」
プロデューサー・舞台監督・技術監督 小栗哲家氏
(紹介者 川田勝哉会員)

次回のプログラム

第1422回例会 3月20日(水)

「AI×人口減少～これからの日本はどうなるのか」
アセットベストパートナーズ株式会社 経営アドバイザー・
経済アナリスト 中原 圭介氏(紹介者 児玉 譲会員)